

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

高岡市長 角田 悠紀

市町村名 (市町村コード)	高岡市 (162027)
地域名 (地域内農業集落名)	国吉地区 (答野島,佐加野,細池,岩坪,頭川,手洗野,月野谷,笹八口,五十辺,江道,境,高辻,八口,四日市)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月17日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手の高齢化が進む一方で、後継者が未定な農地もあり、今後、これらの農地が遊休化する懸念がある。
- ・山間地域等にある小区画の農地について作業効率が悪いなどの課題により集積が難しく、今後管理できない農地が増えることが懸念される。
- ・各営農組合で農地の集積を行っているが、定年延長などにより人材が確保できず、担い手の高齢化が進んでいることから担い手の確保が急務である。
- ・四日市、佐加野地区の小区画の農地について、作業効率などの課題から担い手の確保が難しい。
- ・圃場整備から40～50年が経過し、用排水路の老朽化が進んでいる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・米価の下落に対応するため、収益性の高い作物の導入を検討する。
- ・小区画で水稻、麦等の耕作に馴染まない土地については転作も検討する。(牧草等)

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	297.84 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	297.84 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

- ・農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積・集約化の方針
・地区ごとに5～10年先を見据え、担い手を中心に集積・集約化を進める。 ・担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員等と調整し、農地中間管理機構を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・将来の経営農地の集約化を目指し、農地の機構への貸し付けへを推進する。 ・機構の貸し付けになじまないものについては、引き続き相対で農地貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
・農業の生産効率の向上のため、岩坪・頭川・手洗野・月野谷地区において用排水路の改修を主とした基盤整備に取り組む。 ・狭隘かつびつな農地については、耕作しやすいよう、畔倒し等の補正に努める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
担い手の確保に関する取り組み方針 ・将来的な担い手不足に備え、地区全体での組織化の検討を進める。 ・米価の下落に対応するため、収益性の高い作物の導入を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・作業の効率化が期待できる草刈業務の集落への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣被害防止対策の取組方針

- ・イノシシ対策については、草刈り等の生息環境管理、電気柵等での侵入防止、捕獲檻による捕獲を地域ぐるみで行うよう努める。
- ・講習会の受講等により、害獣の生態等を理解するとともに、正しい電気柵の設置などを学び、実践する。

③スマート農業への取組方針

- ・ラジコン草刈り機による草刈りやドローンによる農薬散布などにより、負担軽減及び作業の効率化に取り組む。

⑦保全・管理等

- ・用水路の整備や草刈の業務委託を行う等地域全体で農業生産効率の向上に努める。